

相談支援だより



令和6年 7月19日発行 岩戸支援学校 支援連携グループ相談・地域支援班

来週から41日間の夏休みに突入します。花火大会、お祭り、プール、旅行…夏休みだからできる経験をたくさん積んでほしいと思うと同時に気を付けてほしいこともあります。今回の相談支援だよりでは、夏休みの過ごし方で特に気を付けてほしい点について、相談担当の菊地先生、高橋先生に伺った内容をLINE風にアレンジしてお伝えします。



永田先生

いよいよ来週から夏休みが始まります。学校や勉強から解放されて、生徒達の気持ちもゆるみがちになり、**非行の兆しが出やすい時期、トラブルに巻き込まれる危険が高くなる時期**とも言われています。どんなことに気をつけて生活すればよいでしょうか？

まずは**トラブルに巻き込まれる可能性が高い場所に行かない**ことです。具体的には、カラオケボックスやゲームセンター、コンビニエンスストア等が挙げられます。**夜間は危険度が増す**ため、特に注意が必要です。外出する時は**【誰と、どこに、何時まで】を保護者に伝える**ようにしましょう。



高橋先生

場所だけでなく、時間帯も重要です。**夜間の外出は、恐喝や暴行、性犯罪の被害にあう危険もあれば、飲酒喫煙等の不良行為を行うきっかけとなる誘惑も潜んでいます。**門限等の約束を守ることや外出時のルールについて、家庭で繰り返し確認するようにしてください。また、**万が一トラブルに巻き込まれた際の対応についても確認**しておきましょう！



菊地先生

近年「特殊詐欺」の受け子として少年少女が検挙される事件が起きています。高額バイト料に気を取られ、気が付いたら個人情報を握られて…その結果、犯罪に加担してしまったという話も耳にします。また、万引きや自転車等を盗むことも犯罪です。**「つい出来心で…」「これくらいはいいだろう」「友達もやってるから」は通用しません。**



高橋先生



永田先生

高校生の夏休みは交友関係が広がる時期。友達の紹介だけでなく、SNSがきっかけで…といったようにちょっとしたことがきっかけとなり**【(ネット上も含め) 出会うはずのない人に出会う】ことがある時代になった**とも言われています。SNSを通じたやりとりでの注意点について教えてください。

SNSの機能に「友だち追加機能」や「ダイレクトメッセージ」があります。実際の友だちではない人が自動的に登録されてしまい、その後メッセージが届くようになった。趣味や考え方が似ていることもあって、親近感を抱くようになり、実際に会ったり、写真送ったりしてしまったというケースもあります。友だち追加機能の制限やプロフィールに個人情報等を載せないなどの設定について、保護者と確認するようにしましょう！



菊地先生

女性だと思ってたのに実際に会ってみたら男性だった、宗教に誘われた、送った写真が知らない間に拡散されていた、ばらまくと脅されたといったトラブルに発展するケースもあります。軽い気持ちで始めたやりとりが大きな問題につながることもあります。相手はいかにも興味があるように装い近づいてきますが、本当の目的は別のところにあります。とにかく知らない人とやりとりを始めないことが重要です。



永田先生

知らない人とのつながりにくい設定にすること、やりとりを始めないことが重要なですね！

友だち同士でのSNSのやりとりにおける注意点はありますか？

SNSのメッセージ機能は非常に便利ですが、対面で話すよりもコミュニケーションがとりにくいと言われています。特にグループ内に多くのメンバーがいる場合、誰の発言に対する返信なのかがわかりづらく行き違いになったり、発言が埋もれてしまい「無視された」と感じてしまうこともあるようです。



菊地先生

グループのメンバーが多くなりすぎたり、複数のグループに参加していたりすることで、常にスマホを気にしなければならず、気が休まらないという生徒もいます。ゆっくり時間の取れる夏休みに参加グループの整理をしたり、スマホから離れる時間を意図的に設けたりしてみてはいかがでしょうか？



高橋先生



永田先生

高橋先生、菊地先生ありがとうございました！

開放的な気分になってトラブルに巻き込まれたり、事故になったりということがないように気をつけて、夏休みだからこそできる体験、経験をして2学期の始業式に元気に登校する姿を楽しみにしています！

裏面に【SNS】【闇バイト】について詳しく記載してあるので、家庭で確認をお願いします。



岩戸さくら

先生のイラストは本校生徒が描いてくれました。とっても上手ですよね♪

LINEトラブルについて



気軽に友だちとつながり、話の出来るLINEですが、実は、対面で話すよりコミュニケーションをとることが難しいと言われています。ちょっとしたすれちがいで様々なトラブルが発生しています。

「は?」とか「しらん」「WWWW」「笑笑」……相手はその話に重要性を感じていないかもしれません。文面だけでは冷たく感じることや、逆になんでも言い過ぎてトラブルになったり、つい心無い言葉を発してしまったり……そんな経験ありませんか?

文面だけだからこそ、伝わらない部分をうまく補う工夫が必要です。「とらえ方が何通りができる文章にしないこと」や「自分の感情をより細かく伝えること」がトラブルを避けるための一つの手立てです。相手の考えがよくわからないときは聞き直す、大事なことは直接話をする、LINEは最低限の話にしておきましょう。

LINEの怖さ



- ◆「友だち追加機能」で見知らぬ相手と簡単につながってしまう。
- ◆フィルタリングがきかず、LINEから有害なサイトにつながることがある。
- ◆グループ内でのいじめの被害、または加害に巻き込まれることがある。
- ◆名前も知らない人（業者など）からコンタクトされることがある。
- ◆未成年にふさわしくない画像や動画にアクセスできてしまう。
- ◆個人情報を盗まれ、名前、住所、学校などが知られてしまうことがある。

より安全にLINEを使うために

- ◇「プロフィール」と「ひとこと」に個人情報をのせない。設定の必要はありません。
- ◇友だちの追加機能を制限する。
- ◇公式タイムラインへのコメントや「いいね」を控える。自分の名前やコメントが表示されたり、コメントした時間から生活サイクルを探られることもあります。
- ◇親子間での意識共有を！！



デジタルタトゥーの恐ろしさを知ろう

「デジタルタトゥー」とは、一度のせてしまったら完全に消し去ることが難しいネット上の書き込みや個人情報などのデータのことです。データは本人やサイト管理人が削除しない限り、永続的に残るだけでなく、拡散やスクリーンショットなどによって、のせた本人でさえも消せなくなることがあるのです。

軽い気持ちや悪ふざけのつもりでも、炎上し、拡散し、誰かの人生、自分の人生を台無しにします。書いた本人は「後で消せば問題なし」と考えても、アカウント名が誰かにスクリーンショットされたり、通報により身元が特定されたりします。削除に莫大な時間と費用がかかることもあります。

情報を発信するときは「この情報が誰かを傷つけないか?」「情報が悪用されることはないか?」を考えましょう。

闇バイトの誘いにのってはいけない

高額バイト料をちらつかせ、振り込め詐欺の受け子や強盗をさせます。犯罪組織の手先として利用され、個人情報をにぎられ抜け出せなくなります。目先のお金に惑わされて、加害者、被害者にならないよう、誘いにのらないようにしましょう。

〈警視庁より〉

アルバイトを探すとき「高額」「即日現金」「高額即金」「副業」「ハンドキャリー」「書類を受け取りだけ」「行動確認」「現地調査」などの言葉に注意を。申込時に匿名性の高いアプリのインストールを求められる場合、闇バイトの可能性があります。あやしいと思ったら家族や警察に相談をしましょう。一度でもやってしまうと、応募の時に送った身分証明書から「家に行く」「家族に危害を与える」など、犯罪組織から脅され、自分が逮捕されるまでやめることができません。逮捕されれば懲役刑や被害者への損害賠償など、得たバイト代をはるかに超えるデメリットが待っています。犯罪グループは助けてくれません。闇バイトは使い捨てです！

（出典：警視庁公式ホームページ #BAN闇バイト）